

**地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）**  
**平成28年度事業評価案について**

**1. 地域公共交通確保維持改善事業**

施行：平成23年度

内容：国が地域の交通に関する取組みを継続的に支援する事業

**2. 対象路線 10路線（13系統）**

○かもバス

- ・奈良交通(株) 当尾線
- ・(株)ウイング 奥畑線・通学線（3系統）
- ・加茂タクシー(株) 山田線・大畑線・南加茂台線・観音寺線・銭司線・西線

○やましろバス

- ・(株)ウイング 山城線（北行・南行）

**3. 地域内フィーダー系統確保維持計画**

- ・地域公共交通の実態を反映するため、地方公共団体（木津川市）、関係交通事業者、利用者代表等が参加している地域協議会にて計画を策定
- ・事業実施にあたり、定量的な目標を設定した計画を国に提出する
- ・運行事業者は、策定する計画に基づき、事業を実施

**4. 事業評価**

概要：計画の目標を達成したか、協議会が評価し国に提出

評価：A 事業が計画どおり適切に実施された

B 計画どおりに実施されていない点があった

C 計画どおりに実施されなかった

評価期間：平成27年10月～平成28年9月

提出期限：平成29年1月31日

その他：①計画を策定した協議会が事業評価を行う

②事業評価を提出した後、国が二次評価を行う

③二次評価の結果を受け、必要に応じて計画の見直しを実施

## 5. 評価内容

### (1) 事業実施の適切性

全路線（系統）について、計画どおり適切に運行されたためA評価とした。

### (2) 目標・効果の達成状況

#### ①定時定路線

- ・当尾線、奥畑線、通学線、山城線

1便あたり1.25人の利用者数を満たしたためA評価とした

#### ②デマンド路線

- ・大畑線、南加茂台線、銭司線、西線

1日当たり1.5人の利用者数を満たしたためA評価とした

- ・山田線、観音寺線

1日当たり1.5人の利用者数を満たさなかったためB評価とした

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成29年1月26日

協議会名: 木津川市地域公共交通総合連携協議会

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
奈良交通株式会社 当尾線	加茂駅東口～加茂山の家の運行	前回事業において目標としていた1便当たり1.25人以上の利用者数は達成しており、引き続き運行を確実に実施していくことで、観光目的の利用者を増加させ、地域の活性化を図ることとした。	A 計画どおり適切に実施された。	A 年間の利用者数は、17,257人で、1便当たりの利用者数は2,78人であった。コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインに基づく運行継続条件を満たした。	目標・効果達成状況のとおり、当事業の目標は達成しており、引き続き確実な運行を実施する。また、利用者数は、観光目的による利用に大きく左右されるところがあり、観光客数を増加させるため、観光施設をPRしながら利用者の増加、地域の活性化につなげる。
株式会社ウイング 奥畑線 奥畑線2 奥畑線3	加茂駅西口～奥畑の運行	前回事業において目標としていた1便当たり1.25人以上の利用者数は達成しなかったため、一層の資料促進を図りながら引き続き確実な運行を実施していくこととした。	A 計画どおり適切に実施された。	A 年間の利用者数は、2,444人で、1便当たりの利用者数は1,26人であった。コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインに基づく運行継続条件を満たした。	目標・効果達成状況のとおり、当事業の目標は達成しており、引き続き確実な運行を実施してゆく。また、民間が持つノウハウを十分に発揮し、利用者の増加を見込み、利用意識の向上に努める。
株式会社ウイング 通学線1 通学線2 通学線3 通学線4	奥畑～加茂駅西口の運行	前回事業において目標としていた1便当たり1.25人以上の利用者数は達成しており、引き続き確実な運行を実施することとした。	A 計画どおり適切に実施された。	A 年間の利用者数は、2,165人で、1便当たりの利用者数は3,87人であった。コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインに基づく運行継続条件を満たした。	目標・効果達成状況のとおり、当事業の目標は達成しており、引き続き確実な運行を実施してゆく。また、民間が持つノウハウを十分に発揮し、利用者の増加を見込み、利用意識の向上に努める。
	恭仁宮跡～奥畑の運行				
	加茂駅西口～銭司の運行				

株式会社ウイング 山城線北行	木津駅～渋川の運行	前回事業において目標としていた1便当たり1.25人以上の利用者数は達成しており、引き続き確実な運行を実施していくこととした。	A	計画どおり適切に実施された。	A	年間の利用者数は、10,780人で、1便当たりの利用者数は2,77人であった。コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインに基づく運行継続条件を満たした。	目標・効果達成状況のとおり、当事業の目標は達成しており、引き続き確実な運行を実施してゆく。また、安心して確実な運行を実施するとともに、民間が持つノウハウを十分に発揮し、利用者の増加を見込み、利用意識の向上に努める。
株式会社ウイング 山城線南行	渋川～木津駅の運行						
加茂タクシー 山田線	加茂駅東口～山田の運行	前回事業において目標としていた1日当たり1.5人以上の目標は達成しなかったため、一層の利用促進を図りながら利用状況を確認することとした。	A	計画どおり適切に実施された。	B	年間の利用者数は、54人で、1日当たりの利用者数は1.15人であった。コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインに基づく運行継続条件を満たさなかった。	運行条件を満たさなかったが、一層の利用促進を図りながら、引き続き利用状況を確認することとする。
加茂タクシー 大畑線	加茂駅東口～大畑の運行	前回事業において目標としていた1日当たり1.5人以上の目標を達成しており、引き続き運行を継続することとした。	A	計画どおり適切に実施された。	A	年間の利用者数は、248人で、1日当たりの利用者数は1.84人であった。コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインに基づく運行継続条件を満たした。	目標・効果達成状況のとおり、当事業の目標は達成しており、引き続き確実な運行を実施する。
加茂タクシー 観音寺線	加茂駅東口～観音寺の運行	前回事業において目標としていた1日当たり1.5人以上の目標を達成しており、引き続き運行を継続することとした。	A	計画どおり適切に実施された。	B	年間の利用者数は、32人で、1日当たりの利用者数は1.28人であった。コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインに基づく運行継続条件を満たさなかった。	運行条件を満たさなかったが、一層の利用促進を図りながら、引き続き利用状況を確認することとする。
加茂タクシー 南加茂台線	加茂駅東口～東山公園の運行	前回事業において目標としていた1日当たり1.5人以上の目標を達成しており、引き続き運行を継続することとした。	A	計画どおり適切に実施された。	A	年間の利用者数は、95人で、1日当たりの利用者数は1.67人であった。コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインに基づく運行継続条件を満たした。	目標・効果達成状況のとおり、当事業の目標は達成しており、引き続き確実な運行を実施する。

加茂タクシー 銭司線	加茂駅西口～銭司の運行	前回事業において目標としていた1日当たり1.5人以上の目標を達成しており、引き続き運行を継続することとした。	A	計画どおり適切に実施された。	A 年間の利用者数は、542人で、1日当たりの利用者数は2.87人であった。コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインに基づく運行継続条件を満たした。	目標・効果達成状況のとおり、当事業の目標は達成しており、引き続き確実な運行を実施する。
加茂タクシー 西線	加茂駅西口～西の運行	前回事業において目標としていた1日当たり1.5人以上の目標を達成しており、引き続き運行を継続することとした。	A	計画どおり適切に実施された。	A 年間の利用者数は、413人で、1日当たりの利用者数は2.36人であった。コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインに基づく運行継続条件を満たした。	目標・効果達成状況のとおり、当事業の目標は達成しており、引き続き確実な運行を実施する。

※評価にあたっては、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施にむけて(ガイダンス)」(平成25年11月)を参照し、実施。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年1月26日

協議会名:	木津川市地域公共交通総合連携協議会
評価対象事業名:	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>木津川市では、木津川市地域公共交通網形成計画に基づき、活力と魅力あるまちづくりを推進し、地域特性はもとより環境負荷の軽減、地域活性化、交通弱者等が安心安全に移動できる生活環境に配慮した地域公共交通サービスの充実を図ることを目的として実証運行を行っているが、利用者は減少傾向にある。</p> <p>このような状況下において、買物や公共施設への移動に必要不可欠な交通ネットワークとして路線を維持する必要性があり、地域間の広域的な移動手段を確保することを目的に事業を実施するものである。</p>

## 目的 計画 目標 (P)

木津川市総合計画及び木津川市地域公共交通網形成計画に基づき、活力と魅力あるまちづくりを推進し、地域特性はもとより環境負荷の軽減、地域活性化、交通弱者等が安心安全に移動できる生活環境に配慮した地域公共交通サービスの充実を図ることを目的として木津川市コミュニティバスの運行を行っているが、利用者数は毎年減少している。

このような状況下において、通院や買物、公共施設への移動に必要不可欠な交通ネットワークとして路線を維持することにより地域間の広域的な移動手段を確保することを目的に事業を実施するものである。

### 【目標値】

- 定時定路線 1便あたり1.25人以上の利用
- 予約型路線 1日あたり1.5人以上の利用

## 概要図・参考資料

- 人口：7.5万人（平成28年12月末現在）
- 面積：85.13平方キロメートル
- 合併状況：平成19年3月に木津町、加茂町、山城町が合併
- 高齢化率：19.1%
- 系統数：17系統（内国庫補助16系統）
- 運行回数：5,465回
- 市負担額：H26 64,594千円、H27 48,130千円
- 協議会等開催状況：H20年5月 第1回協議会開催
- H21年3月 地域公共交通総合連携計画策定
- H26年6月 平成27年度生活交通ネットワーク計画策定
- H27年3月 地域公共交通網形成計画策定

奈良交通(株) 運行車両



(株)ウイング 運行車両



加茂タクシー(株) 運行車両



## 具体的取り組み (D)

通院や買物、公共施設への移動手段として、また鉄道駅へのアクセス手段として地域住民に必要不可欠な公共交通を確保するため、木津川市コミュニティバスの運行を計画どおり実施した。

利用促進策として、木津川市の全てのコミュニティバスで一日乗り放題となる、一日フリー乗車券を販売し、利用者の利便性の向上を図った。

また、コミュニティバスの利用状況や沿線の観光情報等を発信するため、毎月、公共交通だよりの発行を行った。

さらに、地域のみなさまの利用実態や公共交通に関する利用意識などを確認し、利用しやすく満足度の高い地域公共交通の構築を目指し、ワークショップを開催した。

## 取組みに対する評価 (C)

ほとんどの路線において、「コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドライン」に掲げる目標を達成しており、地域の移動手段が確保された。

目標を達していない系統については、一層の利用促進を図りながら、引き続き利用状況を確認することとした。

## 自己評価から得られた課題、対応 (A)

ほとんどの路線で運行継続条件は満たしており、引き続き確実な運行を実施する。

利用者数については減少が続いており、利用促進策をより充実させる必要がある。

利用者の減少に歯止めをかけるため、今後、木津川市地域公共交通網形成計画に位置付けた事業を確実に実施しながら、利用状況の分析を強化し、広報紙やホームページ等多くの媒体を通じた利用促進策に取り組み、さらなるバス利用の周知を図っていく。

## アピールポイント、特に工夫した点など

コミュニティバスの利用実態や運行内容の情報を発信するとともに、古寺として有名な浄瑠璃寺や岩船寺への交通アクセスや沿線の観光情報等、観光振興を図りながらコミュニティバスの利用促進を実施している。

また、公共交通だよりでコミュニティバスの収支状況について、路線ごとに、運賃、運賃収入、市補填額、利用者数、利用者1人当たりの市補填額を行財政改革の視点から公表し、コミュニティバスの必要性や費用対効果、効率性などの観点で、持続可能な運行を実現するための情報を周知している。